

# 一人一人の行動が世界の未来を変える／ できることからはじめよう! エスディーゼーズ SDGs

SDGsは「Sustainable Development Goals」の略称で、「持続可能な開発目標」と訳されています。最近、テレビや新聞などで目にする事が多くなった「SDGs」。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択された世界共通の目標のことで、2030年までに実現を目指していく17の目標(ゴール)を掲げています。SDGsは世界中の全ての人々が将来にわたり幸せに暮らしていくための、世界中全ての人々が協力して達成させていく共通の目標です。

—誰一人取り残さない社会の実現を目指して—

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 「実現を目指す」って、誰がやるの？

貧困や気候変動、食料やエネルギーの不足など、世界は多くの課題を抱えています。

SDGsは、国や大企業だけが取り組みればよいというものではなく、自治体や企業、市民団体の皆さんなどが力を合わせていくことが大切です。

もちろん、皆さん一人一人の協力も不可欠です。少しだけ意識や行動を変えてみると、達成できる目標がたくさんあります。

### 「私たちにできることってなに？」

「世界共通の目標」と聞くと、「自分が関わる事ができる話ではない」と感じてしまうかもしれません。しかし、私たちの普段の暮らしの中でSDGsを意識し、少しずつでも行動を変えていくことで、着実に目標(ゴール)に近づいていくことができます。

私たちの身近なところにも、できることはたくさんあります。未来を生きる子どもたちのためにも、今、私たちができることを考え、日常にSDGsを取り入れてみませんか。

## こんなことも SDGs!? 意外とすぐにできる実践編

SDGs の目標を達成するためには、皆さん一人一人の協力が不可欠です。

遠くの問題のように感じる SDGs も、実は日常生活の身近なことから取り組むことができます。知らないうちに、もう取り組んでいるかもしれません。身近なことだとどんなことができるかを知って、もう一步、世界の目標達成へ進んでみませんか？

### プラスチックストローや カップの使用を避けてみる



プラスチックストローなどのごみが、海洋生物や大気汚染に大きな影響を与えています。水筒を持参する・紙コップを使用するなど、プラスチック製品ではないものを使ってみませんか？

プラスチックストローなどのごみが、海洋生物や大気汚染に大きな影響を与えています。水筒を持参する・紙コップを使用するなど、プラスチック製品ではないものを使ってみませんか？

クリアできる SDGs



### 水を出したままにしない！



日本に住んでいると、水不足を意識する機会は少ないかと思います。しかし、2025年には、世界の人口の3分の2の人たちが水不足になると予測されています。水は大切に使いましょう！

クリアできる SDGs



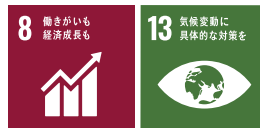
### 買い物は地元で。マイバッグも忘れずに！



地元で買い物をすれば、地域の商店や企業の支援になります。地域の雇用も守られ、物の輸送費の削減にもつながります。また、買い物にはマイバッグを持っていくことで、無駄なビニール袋をもらわないで済みます。ごみも減らせて地球にやさしいですよ。

地元で買い物をすれば、地域の商店や企業の支援になります。地域の雇用も守られ、物の輸送費の削減にもつながります。また、買い物にはマイバッグを持っていくことで、無駄なビニール袋をもらわないで済みます。ごみも減らせて地球にやさしいですよ。

クリアできる SDGs



### 使っていない部屋などの 電気をこまめに切ってみる



家や個人店のエネルギー（電気）消費量は、地球全体での発電量の30%にもなるそうです。使っていない部屋の電気を消す・使っていない家電のコンセントを抜くなど、小さなことでもみんなで取り組めば大きな効果があります！

クリアできる SDGs



### 食品ロスをしないよう、 買い物をする前に冷蔵庫を確認しよう



食品ロスは、食べられるにもかかわらず捨てられる食品のことです。日本では年間612万トンが発生しています（平成29年度：農林水産省及び環境省発表）。単純計算で、国民1人当たり毎日おにぎり1～2個を捨てている計算になります。

食品ロスをしないよう、買い物前に冷蔵庫を確認してみましょう。

クリアできる SDGs



### SNS で SDGs の取り組みを発信する



認知度がまだまだ低い SDGs。SDGs の取り組みを知っている方・取り組んでいる方が増えるほど、この先の未来が変わっていきます。

SDGs のこんなことをしてみた、こんなことができるのでは？ など、ちょっとしたことで大丈夫。ぜひ SNS でシェアや発信をしてください！

クリアできる SDGs



他にもまだまだ、できることはいっぱいあります。国際連合広報センター WEB サイトでは、私たち一人一人が気軽に取り組めることをまとめた「ナマケモノにもできるアクション・ガイド」を公表しています。右の二次元コード、またはインターネットで「SDGs ナマケモノ」で検索！ぜひ参考にしてみてください！



## 始めています！SDGs

市内でも、学校や民間企業などで、SDGsの推進に向けた取り組みが始まっています。その一例として、中学校でのSDGsに関する学習の様子や、SDGsに先進的に取り組む民間企業の活動を紹介します。

### 中学校の取り組み

#### 城ノ内中学校

城ノ内中学校の3年生が、「龍ヶ崎のまちをプロデュース」をテーマに、まちの活性化策やよりよいまちづくりを進めるための方策を、SDGsと関連付けて学び・提案する活動を行いました。

1月14日にはプレゼンテーションを開催し、グループごとに学んできた内容や提案などを発表した後、意見交換を行いました。

廃校を利活用した運動施設の設置、新しい観光スポットの提案、龍ヶ崎コロッケを活用した新たな食の提供、商店街の活性化に向けた斬新な取り組みなど、さまざまな意見が出ていました。



#### 生徒たちの感想



“持続可能な「まち」を目指す”という目標1つに対して、さまざまな要素を取り入れ、こんなにも多くのアイデアが生まれるのは、すごいと思いました。自分達のまちをどう活性化させるかを考えることが、実現に向けた第一歩になると思いました。



たった1つのことを探れば探るほど、奥が見えてきて、その見えたものがSDGsにつながるのだと思いました。

龍ヶ崎市の事業を調べ、もっと良くするために何ができるかを考えて発表したことで、以前よりも「龍ヶ崎にずっと住みたい。これからの龍ヶ崎が楽しみだ」という気持ちが強くなりました。



自分が取り組んでも何も変わらないではなく、みんなで取り組むから少しずつ効果が出てくるのだと感じました。



### 民間企業の取り組み

市内の企業でもSDGsの取り組みが進められています。ここでは、「SDGsに取り組む中小企業の先進事例」として、経済産業省のWEBサイトに掲載されている「株式会社諸岡」の取り組みを紹介します。

#### 株式会社諸岡

「株式会社諸岡」は庄兵衛新田町に本社を構える産業機械メーカーで、建設・農業機械、環境機器などの製造販売を行っている企業です。



#### SDGs推進の取り組み

SDGsの推進に向けて、社長を筆頭に社内でサステナビリティ推進室を設置し、社員のSDGsに対する理解を日々進めています。また、同社HPでは自社のSDGsの取り組みをマンガで紹介するなど、ユニークな取り組みも行っています。



#### 環境への配慮

太陽光発電を行い、再利用可能エネルギーの利用促進や木材破砕機などを開発し廃木材のリサイクルを推進するなど、本業を通して地球環境保全へ貢献しています。





## SDGsの推進に向けて～龍ヶ崎市の取り組み～

市では、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すSDGsの推進に向けて、ごみ減量や再生可能エネルギーの導入、健康づくりや生活習慣病対策、インクルーシブ教育、災害に強いまちづくりなど、さまざまな施策・事業を展開しています。

### SDGsの推進に向けて市が取り組んでいる主な事業

12 つくる責任  
つかう責任



#### サンデーリサイクル

資源物回収場所・機会の増加で市民サービスを向上し、ごみの減量・リサイクルを推進しています。

3 すべての人に  
健康と福祉を



#### 乳幼児健康診査、各種予防接種など

健診をはじめ、妊婦や子どもの健康を守る取り組みや、成人に対する生活習慣病対策など、市民皆さんの健康づくりを推進しています。

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



#### 太陽光発電システムなどの導入

市役所本庁舎・たつのこアリーナ・馴染コミュニティセンターに太陽光発電システムと蓄電池を、城西中学校に太陽光発電システムをそれぞれ導入しています。

11 住み続けられる  
まちづくりを



#### 地区防災訓練、コミュニティバスの運行など

地震や集中豪雨などの自然災害に対する防災対策など、市民と行政が一体となった、災害に強いまちづくりを進めています。また、コミュニティバスを運行し、市民が安全・安心・快適に利用できる環境を整備するとともに、使いやすい公共交通システムを目指しています。

### SDGsの職員研修会を開催しました



市民の皆さんとともにSDGsの取り組みを進めていくためには、市職員がSDGsに対する意識を高め、正しく理解した上で、率先して推進していくことが重要です。昨年12月、専門家を講師として招き、職員研修会を開催しました。

職員研修の講師としてお招きした市内在住の上智大学・田中治彦先生から、市民の皆さんへのメッセージをいただきました。

SDGsには、教育、健康・福祉、食料、衛生といった私たちの日々の生活に関する目標がある一方で、地球温暖化、貧困撲滅、生物多様性といった地球規模で考えるべき目標もあります。

コロナ禍でも分かるように、今や私たちの生活と生存は、地域の問題であると共に世界につながる課題でもあります。

SDGsのスローガンは、「誰一人取り残さない」という強いメッセージです。災害弱者でもある女性・子ども・高齢者・障がい者・外国人などが「住みやすいまちづくり」が望まれています。

大げさではなく、私たちがSDGsの目標に意識して取り組むことで、一人一人の行動がよりよい世界を作り、世界を変えていくことにつながります。

上智大学グローバル・コンサーン研究所  
田中治彦



### 龍ヶ崎市の今後の取り組み

- SDGsの目標アイコンを表示  
毎年策定する市の「主要施策アクションプラン」や、市が実施する事業のPRチラシなどに、SDGsのアイコンを紐づけて表示します。
- 次期最上位計画策定時にSDGsの17の目標とのつながりを意識しながら構成などを検討
- SDGsの推進に取り組む企業の皆さんとの連携事業の推進

今後も、SDGsの目標を意識した取り組みを積極的に推進するとともに、市民の皆さんと一緒に協力して行動できるよう、SDGsの周知・啓発に取り組んでいきます。

今回の政策情報誌はいかがでしたでしょうか。政策情報誌の品質向上のため、アンケートの回答にご協力をお願いします。

【回答締切：令和3年3月末】

